

留学生のニーズをふまえた LLブック『はじめての病院』の制作

方子柔* (lm191092@senshu-u.jp), 野口武悟* (takenori@isc.senshu-u.ac.jp)

*専修大学

1.背景と目的

日本で在留している外国人は非常に多く、十数年前から毎年徐々に上昇してきた。ところが、出入国在留管理庁が発表した「在日外国人統計」(2020年10月9日)によると「令和2年6月末における中長期在留者数は257万6622人、特別永住者数は30万9282人で、これらを合わせた在留外国人数は288万5904人となり、前年末(293万3137人)に比べ、4万7233人(1.6%)減少しました」¹というデータがあった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2021年の在日外国人も減少したが、現在も日本では一定の人口割合が外国人であることは確かである。

日本に暮らす外国人は、医療機関の受診に際して不安を感じる事が以前から指摘されてきた。しかし、このことは、今でも改善されず、外国人による日本の医療機関の利用率は低いままとなっている。226ヶ国16万人以上の在留外国人が登録しているメディアを運営している株式会社YOLO JAPANは、2020年4月に在留外国人会員に外国人から見た医療機関の対応に関するアンケート調査を実施した。その結果によると、「在留外国人会員の60%が日本の医療機関を利用する際に不安を感じると回答し、その内の約3割は言葉が通じないことや受付・支払いなどの医療機関の利用方法について不便さを感じていることが分かった」²と述べられている。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで、医療機関を利用する外国人が増える状況が予想できる。不安を解消できるような情報提供や対応が求められている。

そこで、今回、筆者らは、日本に来たばかりの外国人や日本語があまり得意ではない外国人なども、病気になった時、自分の症状が説明できて、日本の医療機関についての理解も高まるような、誰にでも簡単に活用できる本(LLブック)づくりをめざした。LLブックは、「文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人がやさしく読めるよう、写真や絵、分かりやすい文章、ピクトグラムなどを用いて内容が分かりやすく書かれている本」のことであり、LLは「スウェーデン語のLättlästの略で、“やさしくてわかりやすい”という意味」である³。このLLブックの制作を通して、在日外国人が日本の医療機関を受診する際の不安解消に役立てることができれば幸いである。

2.方法

LLブック制作に向けてのニーズ調査として、2021年6月から7月まで、専修大学で学ぶ留学生（10人）を対象に「日本の医療機関を利用した経験」をテーマとしてアンケート調査を行った。対象者を国籍別に示すと、中国3人、韓国2人、香港3人、台湾1人、ベトナム1人である。

そのうえで、同年7月から2022年1月まで、LLブックの制作機能を提供するサイト（ハートフルブック）とイラストレーター、フォトショップを利用して、LLブック『はじめての病院』を制作した。

3.結果と考察

3.1 アンケートの結果

まずは、留学生10人を対象としたアンケート調査の結果を報告する。

10人のうち「日本の医療機関を利用したことがある」が8人という結果であった。この8人に「利用したことがある医療機関の種類」（複数回答可）をたずねたところ、歯科（6人）、皮膚科（3人）、内科（4人）、耳鼻科（5人）、眼科（1人）、整形外科（1人）、婦人科（1人）となった。

次に、「日本の医療機関を利用した時、不便を感じたことがあるか」をたずねた。その結果、「症状の単語がわからない」「症状を形容する言葉がわからない」「どこへ行けばいいのかわからない」「先生からの説明がわかりにくかった」「英語からのカタカナの専門語がわからない」などの不便を感じた経験があるとの回答が寄せられた。

今回のアンケートに回答してくれた留学生10人のうち9人が「病気になったときはまずドラッグストアで薬を買う」「なるべく病院に行かない」などのコメントをしていた。

3.2 LLブック『はじめての病院』の制作

前述のアンケートの結果をふまえて、LLブック『はじめての病院』を制作した。内容は「必要なもの」「初診の流れ」「診療科の分け方」「症状の説明」という4つのパートから成っている。文章は日本語と英語で書き、イラストはイラストレーターとフォトショップを利用して、オリジナルのイラストを作成した（図）。

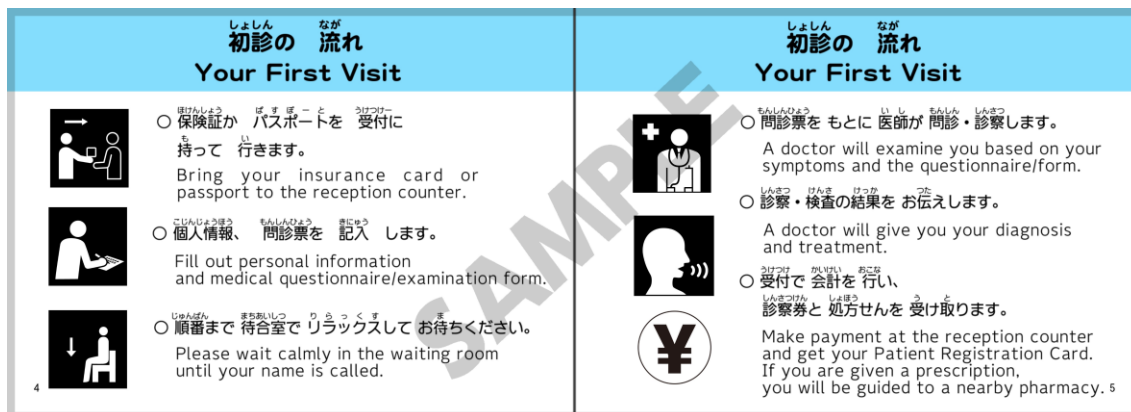


図 LLブック『はじめての病院』の内容例

数回の校正作業を経て、LLブック『はじめての病院』は2022年2月に完成した。今後は、「ハートフルブック」(<https://heartfulbook.jp/>)のサイト上にも掲載し、多くの人に利用してもらいたいと考えている。

謝辞

ご多忙のところ、アンケートにご協力いただいた留学生のみなさんには、ここに記して感謝申し上げます。

注・文献

- 1 出入国在留管理庁『令和2年6月末現在における在留外国人数について』(https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/nyuukokukanri04_00018.html : 2022年2月10日最終確認)
- 2 YOLO JAPAN『「病院の使い方が分からない」在留外国人の60%が日本の医療機関を利用する際に不安』(<https://www.yolo-japan.co.jp/news-release/7599> : 2022年2月10日最終確認)
- 3 野口武悟「LLブックとは」『ハートフルブック』(<https://heartfulbook.jp/> : 2022年2月10日最終確認)